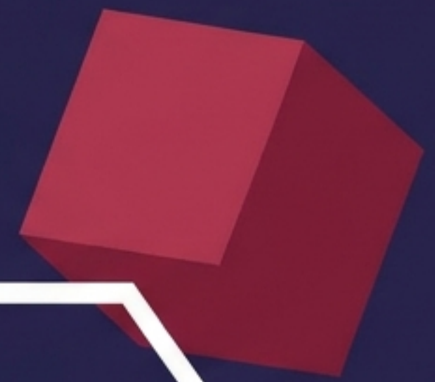
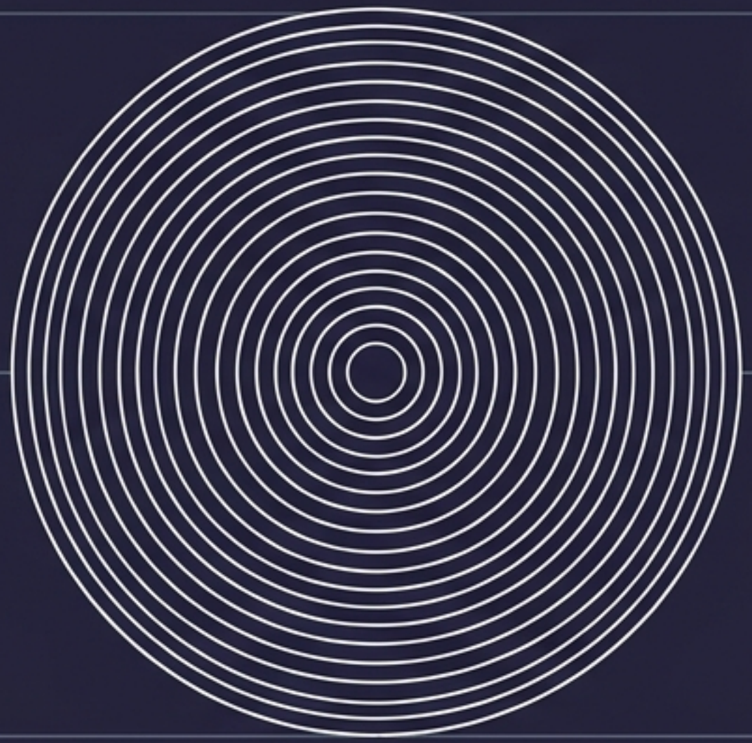
「波風を立てない」は、
誰かに我慢を押し付けている。



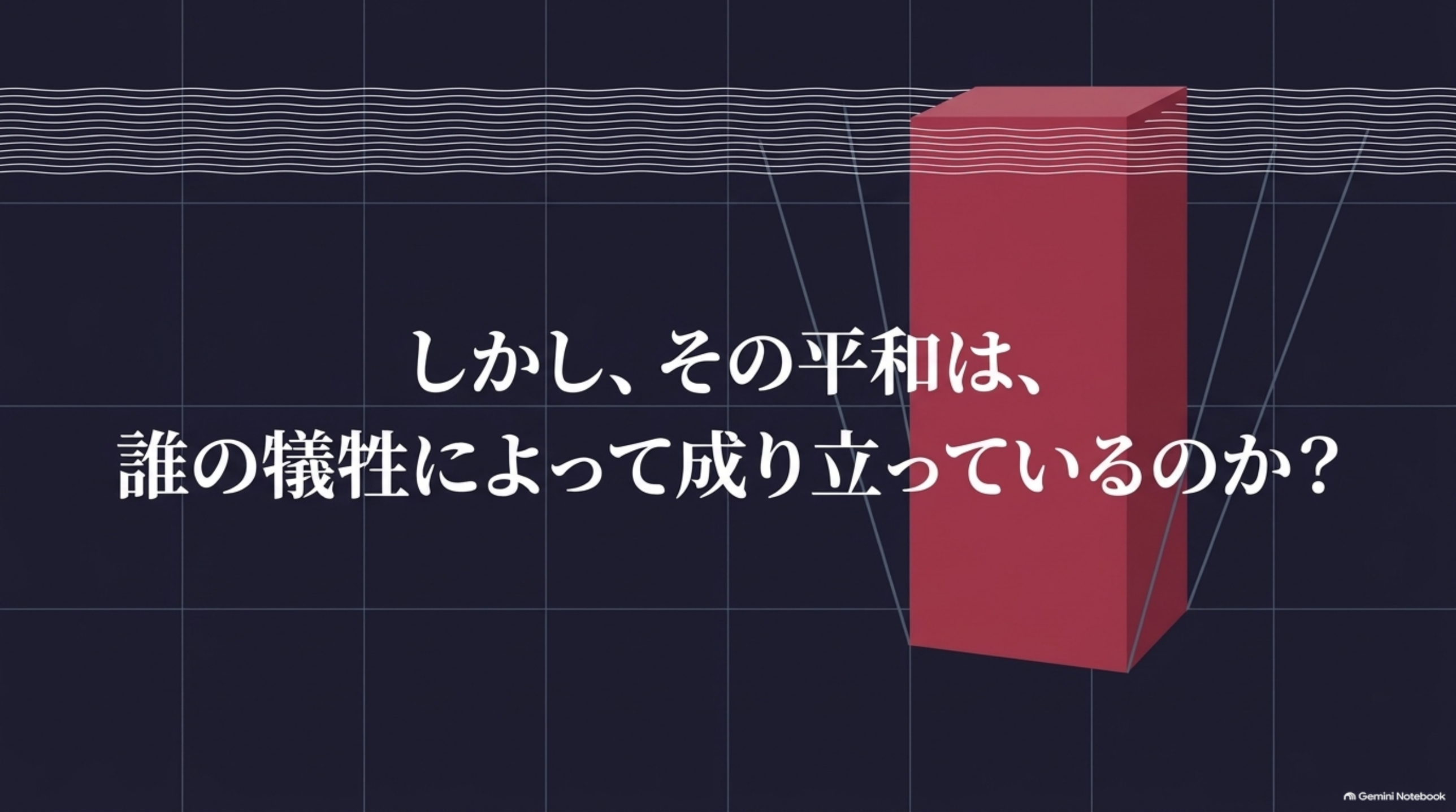
Gemini Notebook

「揉めたくない」
「面倒なことに巻き込まれたくない」
「みんな仲良くやればいい」



一見、平和で大人の対応に聞こえる言葉。

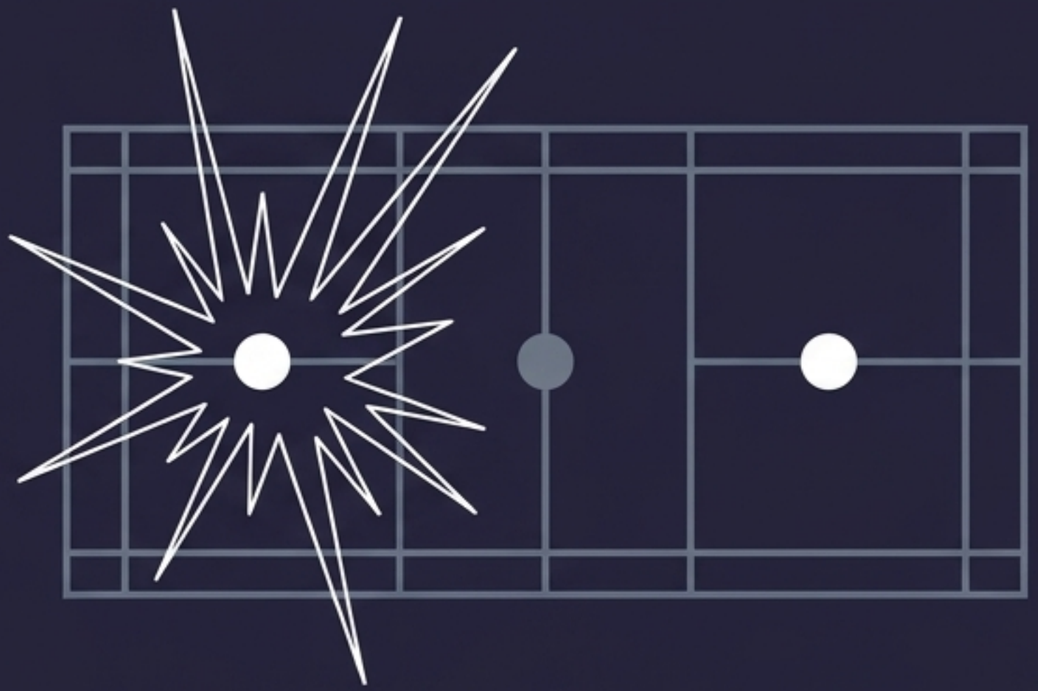
Gemini Notebook



Gemini Notebook

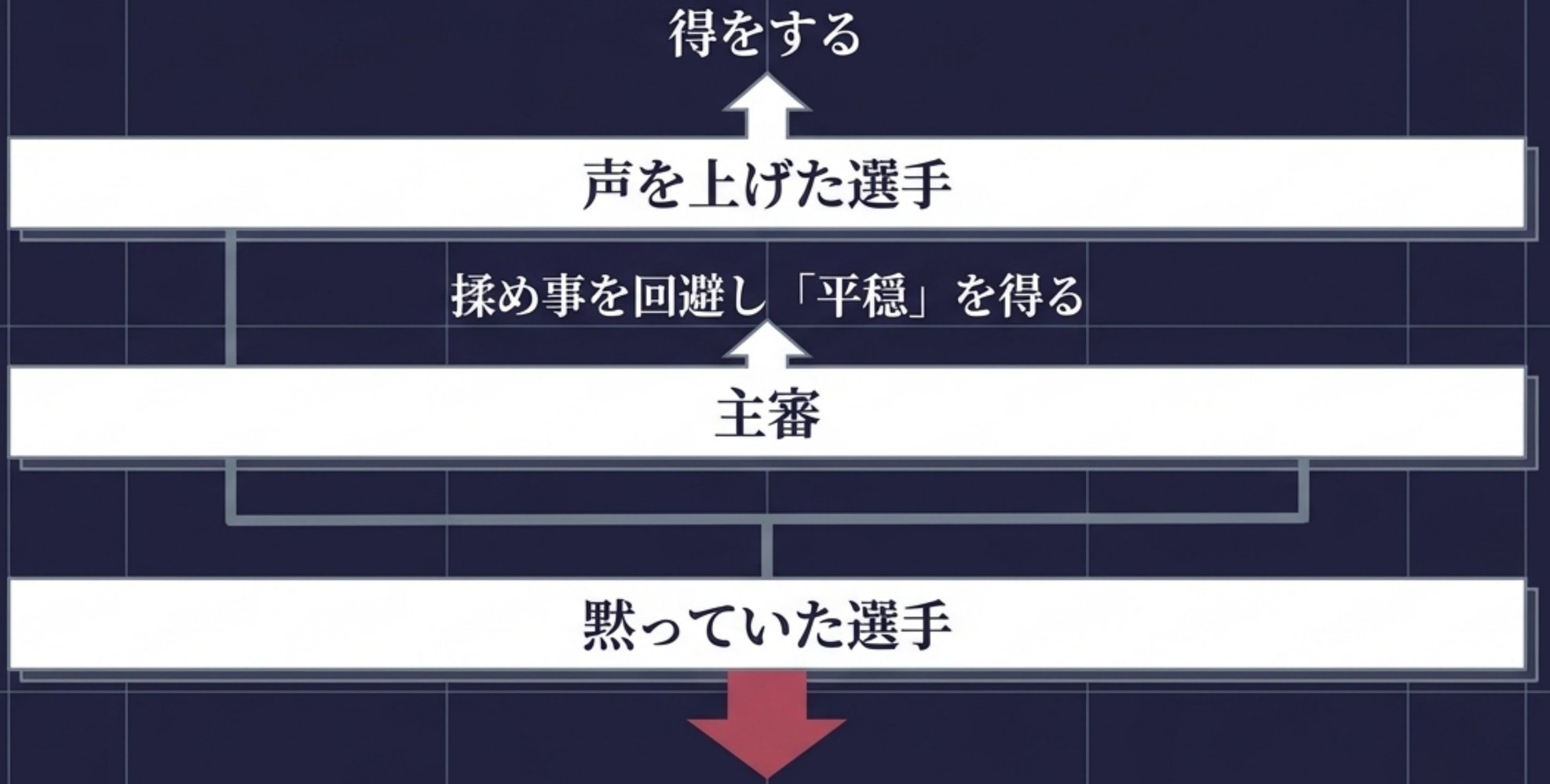
あるバドミントンコートでの出来事。
選手が判定に激しく抗議してきた。

揉めたくない主審は、
抗議の勢いに押されて「判定を覆す」。



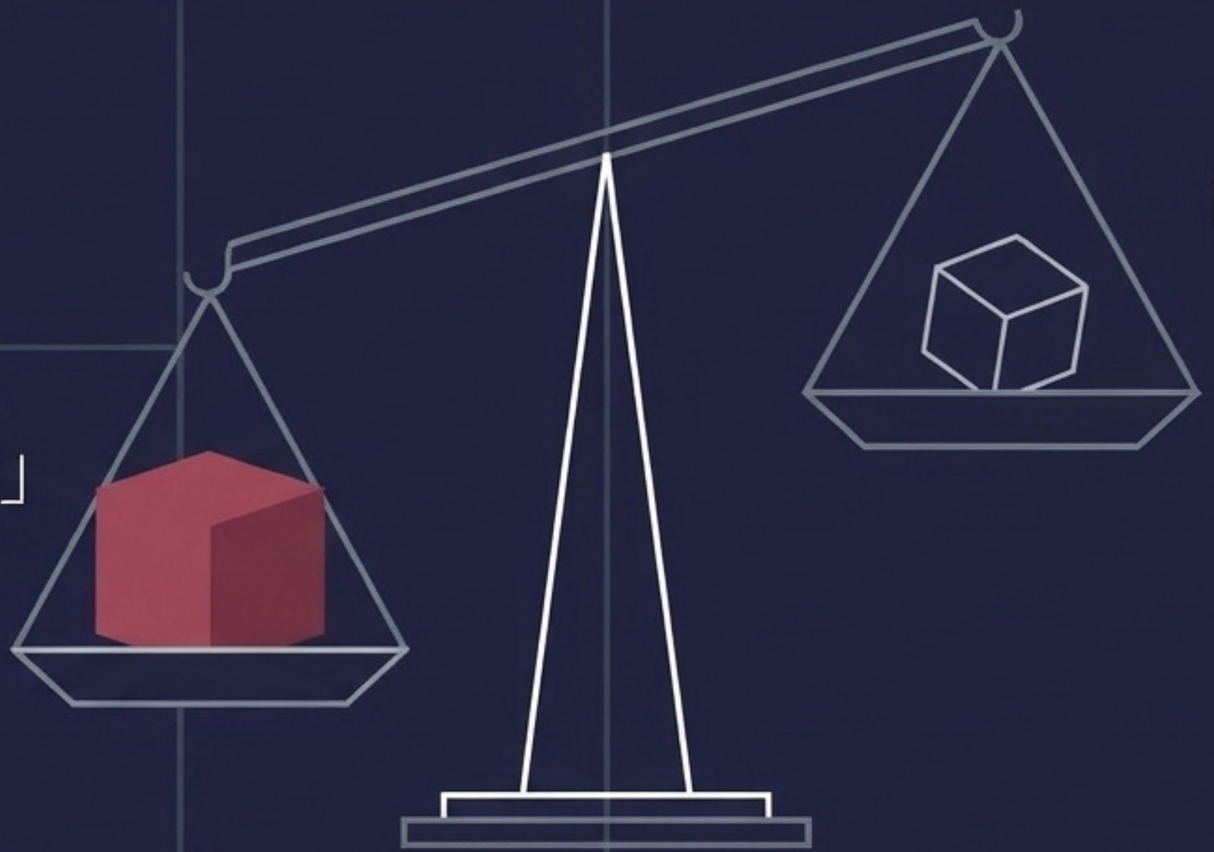
Gemini Notebook

この瞬間、何が起きたのか？
波風が立たない「平穏」の代償は、黙っていた選手に吸収される。



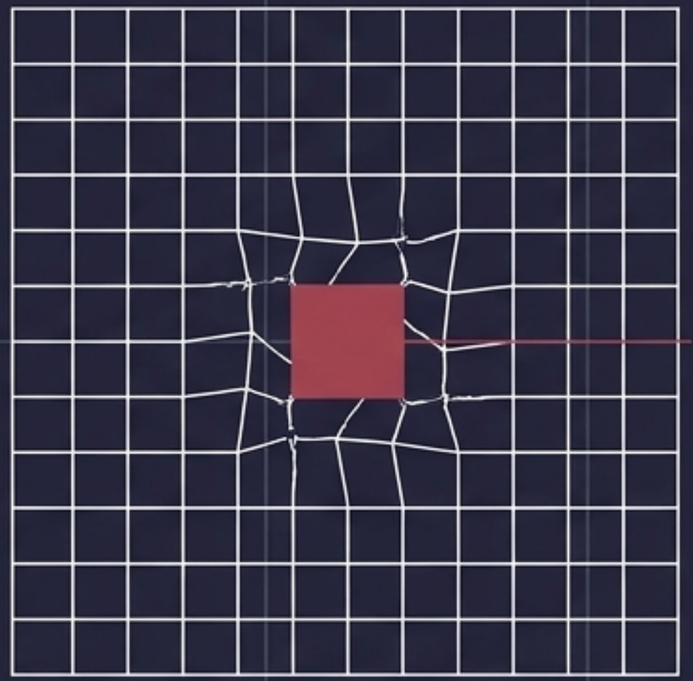
Gemini Notebook

主審は単に判定を変えたのではない。
「自分の平穏」を守るために、「公平性」を犠牲にしたのだ。



Gemini Notebook

そして、最も恐ろしい副作用。
それは「強く抗議すれば得をする」という
不正なルールを、
主審自らがその場に誕生させてしまったことだ。



Gemini Notebook

これは、コートの中だけの話ではない。
会社でも、家庭でも、まったく同じことが起きていないか？



Gemini Notebook

波風を立てない

波風を声の小さな人に押し付けた

怒る人、騒ぐ人を優先し、黙っている人に我慢させる。
厄介なのは、それを「大人の対応」や「協調性」と呼び、
自分を善良な人間だと思い込んでいることだ。

Gemini Notebook

言葉の定義を、アップデートする。

	偽りの定義（波風を恐れる人）	真の定義（公平性を守る人）
【優しさ】	怒っている人を なだめること	声を上げない人の 正当な権利を守ること
【勇　気】	誰にも嫌われないように 振る舞うこと	自分が責められても、 正しい基準を曲げないこと
【平　和】	誰も怒らせないこと	誰もが公平に扱われること

Gemini Notebook

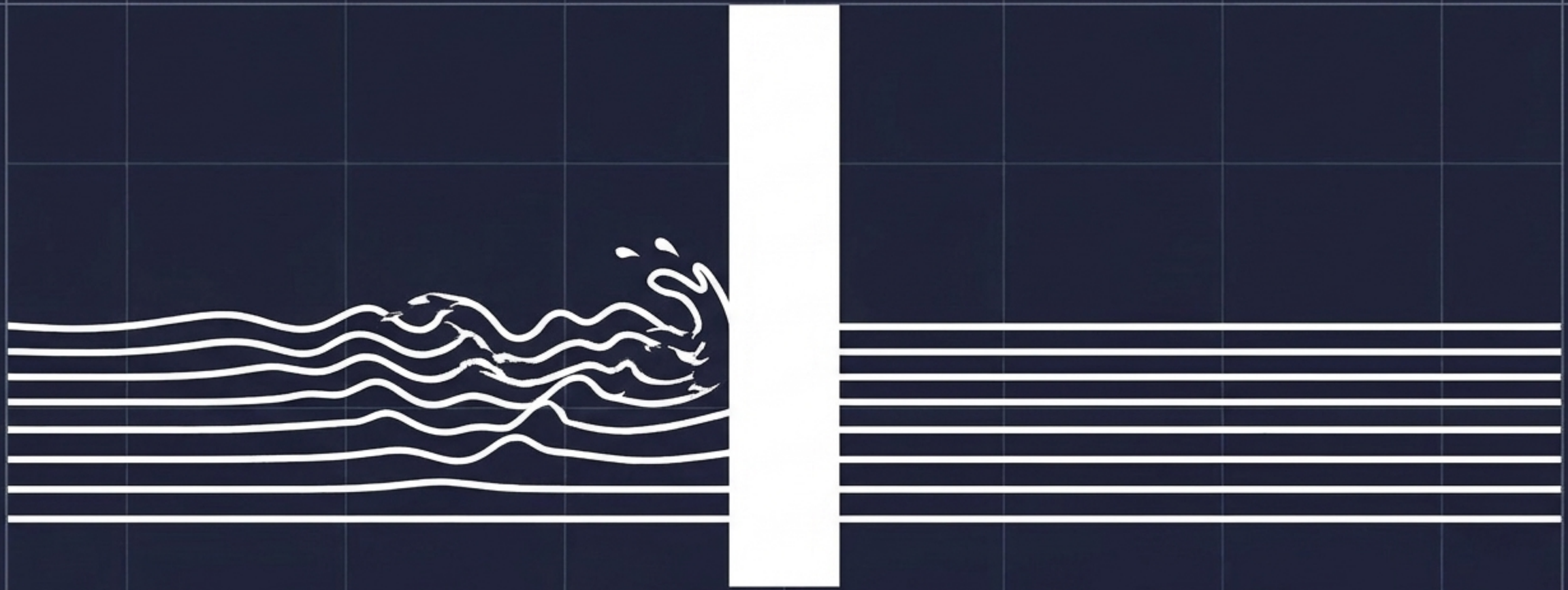
不公平を見逃して得られる平和は、平和ではない。
それは、弱い立場の人に不満を飲み込ませているだけだ。



Gemini Notebook

あなたが守っているのは、公平な平和ですか？
それとも、自分だけの平穏ですか？

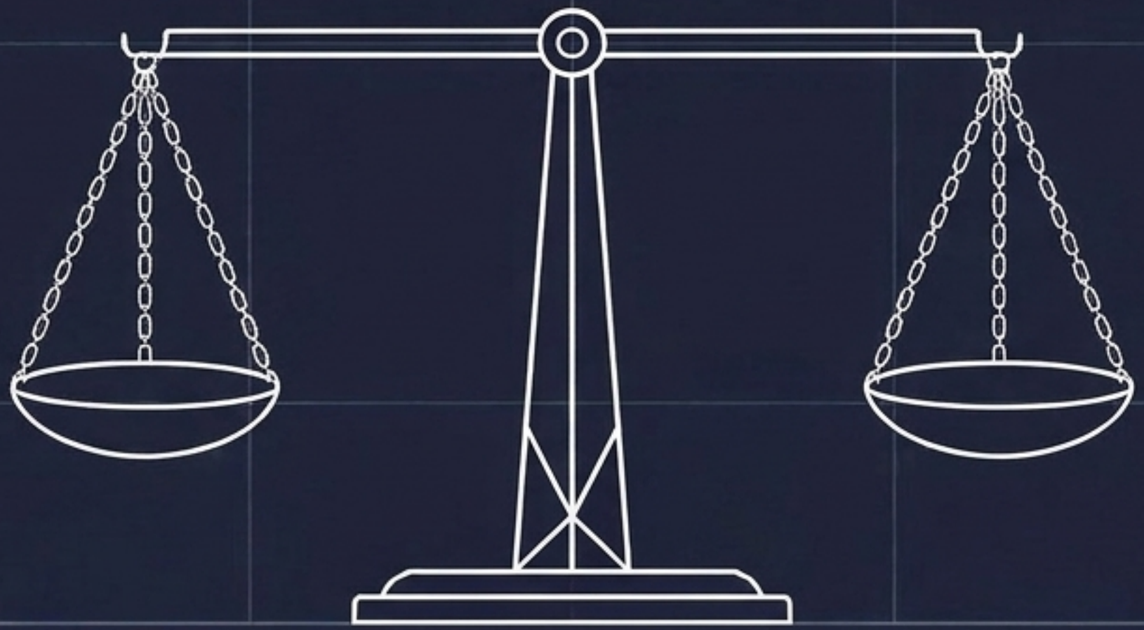
Gemini Notebook



波風を立てないことを誇る前に、考えよう。
その波風を、いったい誰が引き受けているのかを。

Gemini Notebook

嫌われることを恐れず、公平性を守れる人間でありたい。
本当に守るべきなのは、自分の平穏ではなく
「誰もが公平に扱われる」という原則なのだから。



出典：PHOENIX愛知「波風を立てない」は、誰かに我慢を押し付けている。／レンの感想文より

Gemini Notebook